

「あこると」の益々のご発展を…!

ライラックの会・副会長 水上 信子

「森のコンサート・2nd」開催おめでとうございます。

私共ライラックの会は、犬養道子女史の難民救援活動を支える為に活動しています。

今年、札幌教育文化会館に於て、私共主催のチャリティー・コンサートを企画・実施致しましたが、準備の段階で、音楽関係の方から「木芸館」での1stコンサートの評判を聞き及びました。

「あこると」の荒井様のご好意で、プログラムデザインから、演奏者、曲目まで全てコピーさせて頂きました。お陰様で、当日のコンサートは、宮廷さながらの雰囲気の中でアンコールを重ね、大成功をおさめることができました。

難民救援活動にもはずみがつき、会員一同喜んでいただいております。

この度、「森のコンサート・2nd」が開催されると聞き、感謝の念でペンをとりました。

「あこると」の益々のご発展を心より祈念しています。

ごあいさつ

あこると・代表 荒井のり子

山や森もすっかり色づき、秋たけなわとなりました。

「森の集い・1stコンサート」の際には、大変お世話になりました。有難うございました。

其の後、皆様方よりお誉め、はげましのおことばを戴き感謝申し上げます。

「秋には是非、クラシックギターを…」との、ご要望があり今回の企画となりました。情熱的でありながら、かつ、もの哀しいギターの旋律は、必らずや聴く人の心を魅了することと思います。

一人でも多くの方に、クラシック音楽を楽しんで戴こうと始めたコンサートですが、今回より、木工作家・絵本作家である中林彰氏のご好意によりまして、「森のコンサート」の名前を使わせて戴くことになりました。皆様の末永いご支援を心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、丸瀬布町教育委員会、木芸館、さわらび女声コーラス、そして大勢の皆様にお世話になりました。有難うございます。

※ Akkord (アコルト)

ドイツ語で和音の意：クラシック音楽を楽しむ会

●●●●●●●●●● 森のコンサート 2nd ●●●●●●●●●●

秋に



作品解説

モーツァルト 作曲

オペラ「フィガロの結婚」より序曲

モーツァルトが30才の時、1786年ウィーンの宮廷劇場で初演されたオペラ「フィガロの結婚」は大成功をおさめたのですが、ダ・ポンテによる台本には貴族の権威の失望を茶化した内容が一部含まれるため上演に際し問題になったとも言われています。オペラブッフア（喜歌劇）として作られた「フィガロの結婚」の序曲だけあって軽快な二長調のアレグロで、現在では序曲だけを単独で演奏することも多いようです。

フェルナンド・ソル 作曲

モーツァルトの「魔笛」のアリアによる主題と変奏

ソルはベートーヴェンなどと同じころ活躍した古典派時代のギタリストでしたがギターの曲だけでなくオペラや室内楽なども多く作曲しています。この曲の主題に使われているアリアは「Klingt so herlig（これは何と素晴らしい音だ）」といい、魔法の笛や鈴で悪者達を撃退する場面で歌われるもので、これを聴いた悪者達はみんな踊りだしてしまうというものです。ソルはこの軽妙なメロディーにギターの演奏テクニックを駆使した5つの変奏をつけ、とても華やかなものになりました。

ヨハン・カスパー・メルツ 作曲

アダージオとマズルカ

ハンガリーのプレスブルグに生まれてウィーンで活躍したメルツは、リストやショパンの活躍するロマン派時代のギタリストで、ギター独奏曲に限らず室内楽や歌曲を含む多くの作品を作ったのですが残念ながらごく最近になるまで注目さることはありませんでした。この曲は音域の異なった2台のギターのための曲で、1st. ギターにカポタストという弦長を短くする道具をつけて演奏します。

フランシスコ・ターレガ 作曲

アルハンブラ宮殿の思い出

この曲は誰でも知っているほどのギターの名曲でトレモロ

ホアキン・ロドリゴ 作曲

アランフェス協奏曲第2楽章より

ギター協奏曲の中で最も有名な曲であるアランフェス協奏曲はスペインの盲目の作曲家であるホアキン・ロドリゴにより作曲されました。この第2楽章はそのテーマをジャズのジム・ホール等が取り上げるようになってから有名になり、色々な楽器・編成で弾かれるようになりました。ですから「恋のアランフェス」という題名のポピュラー曲として耳にされている方のほうが多いかも知れません。ここではギター2重奏として演奏するので編曲に際して中間部を若干省略しました。

平佐 修 作曲

KIRAKU

ももとは、尺八とギターの為に書いた曲です。

今年の3月に尺八とのコンサートがあり「へんてこりんな曲（現代曲）ばかりで…」と尺八奏者が恐縮するもので、「お楽しみ用に一曲書いてみますか…」と、出来上がったのがこの“へんてこりん”曲です。“山寺の和尚さん”のモチーフをそのまま使いビートを利かせました。KIRAKUは、「喜・楽」でも良いのですが、「気楽」に聴いていただければ嬉しく思います。

か
落
ら
葉
まつ
松

野上 彰 詩

落葉松の
わたしの

秋の雨に
手が濡れる

落葉松の
わたしの

夜の雨に
心が濡れる

落葉松の
わたしの

陽のある雨に
思い出が濡れる

落葉松の
わたしの

小鳥の雨に
乾いた眠が濡れる

ラム

「フィガロの結婚」より

ア
イ ケ サベテ ケ コサ アモール

ツァルトの「魔笛」の
アリアによる主題と変奏

い秋みつけた サウ ハチロー 詩

の花 壺田 花子 詩

話した 鎌田 忠良 詩

たとわたし 堀内 幸枝 詩

憩 ※

アランフェス協奏曲
第2楽章より

アダージオとマズルカ

アルハンブラ宮殿の思い出

KIRAKU

らんぼ

三木 露風 詩